



# 二俣川小だより



11月号

横浜市立二俣川小学校 令和元年10月25日

発行責任者

校長 池田 千晶

## 誰かの役に立つ

校長 池田 千晶

今年もジュニアボランティアに、本校から14名の子どもが参加しています。年間活動で赤い羽根の共同募金をはじめ、まつり祭りやふれあい餅つき大会への参加、保育士体験など、民生委員の方々と共に活動をしています。今年は残念ながら募金活動をしているところに行けなかったのですが、昨年行った時の様子を思い出すと、とても大きな声で道行く人に呼びかけていた姿が印象的でした。8月に旭区長より任命されてから、自分の力が誰かの役に立つように、誇りをもって活動している様子が目に浮かびます。今年も活躍を期待しています。



平成30年度 活動のあしあと

実は日常生活においても、いろいろな場面でさりげなく、誰かのために行動している人がいます。例えば、帰るときに怪我をした低学年の子どもに優しく声をかけながら保健室に連れてくる高学年。給食の汁が廊下にこぼれているときに、後から来た違うクラスの子が当たり前のように拭いていく中学年。プリントが床に落ちているときに、さりげなく拾って友達に渡す低学年。職員間でも、それは見られます。体力テストや大会の練習などで、係から何も言われていないのにさっとグラウンドでライン引きに参加する職員。廊下や水道にごみが残っているときに、自ら綺麗にする職員。そして保護者の方々もPTA活動やボランティア、あるいは自主的に子どもの安全・安心と、その居場所づくりのために、たくさんの時間を使ってくださっています。地域の方もそうです。

このような行動はどうして生まれるのでしょうか。そこに人がいて、手を差し伸べれば自分の力が誰かの笑顔につながるかもしれないと無意識に感じているからでしょうか。多くの人が少しの時間を誰かのために役に立てようと行動することがいかに大切か、ジュニアボランティアを通して私たち大人に何ができるか、改めて考えさせられました。

今月も、子どもの成長のために職員一同全力で取り組んでまいります。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。